

ゼリア新薬工業株式会社

2011年度(2012年3月期) 決算説明会

2012年5月23日

代表取締役社長
伊部 幸顕



目次

I. 2011年度(2012年3月期)の業績(連結)

- I -1 決算の概要(連結)
- I -2 売上高(連結)
- I -3 医療用医薬品事業の状況
- I -4 コンシューマーヘルスケア事業の状況
- I -5 海外売上高(連結)
- I -6 利益(連結)
- I -7 財務及びキャッシュフローの状況(連結)

II. 2012年度(2013年3月期)の取り組み

- II -1 通期業績予想(連結)
- II -2 医療用医薬品事業
- II -3 コンシューマーヘルスケア事業
- II -4 海外事業

* 参考 新薬パイプラインの状況

I . 2011年度(2012年3月期)の業績(連結)

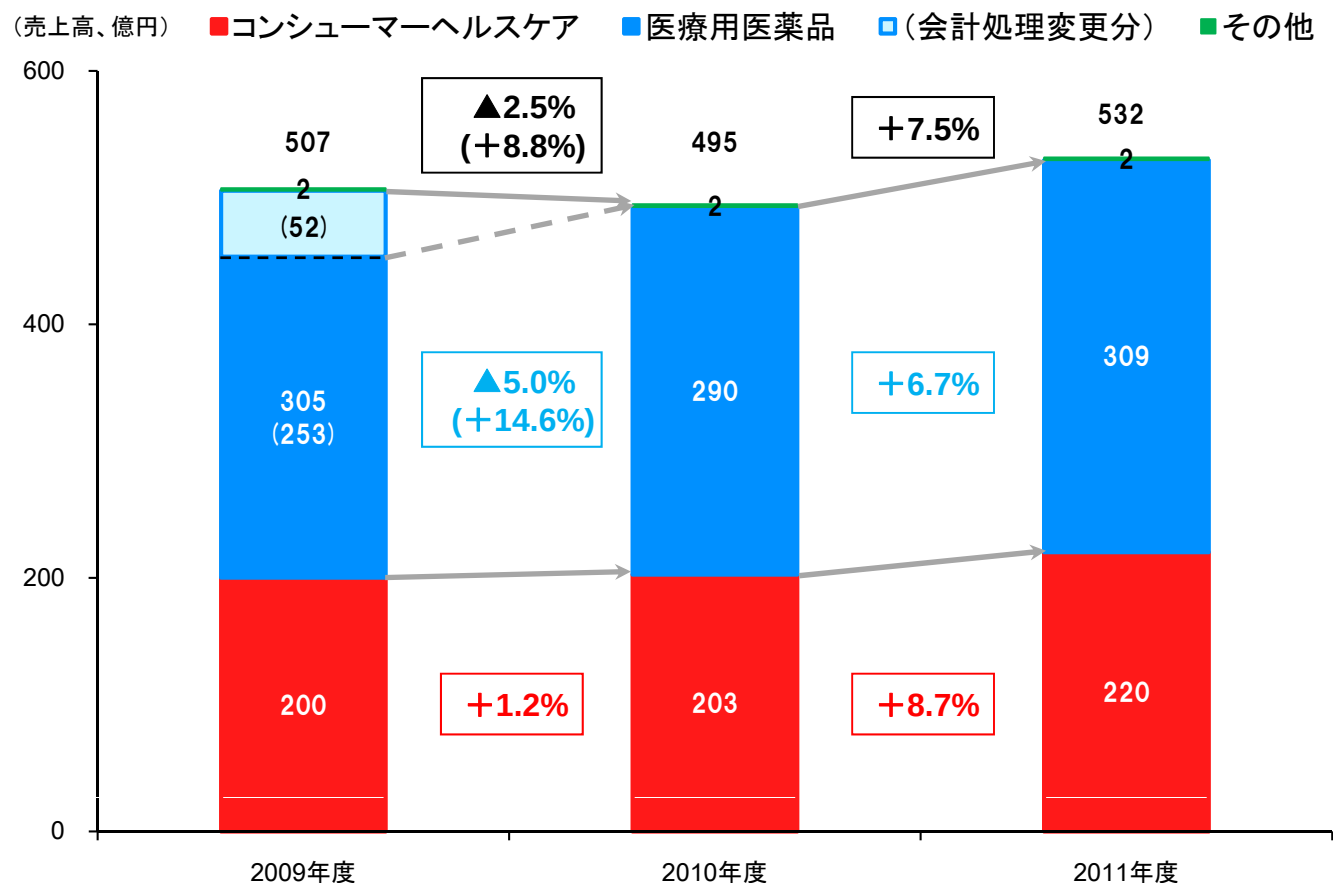
I -1 決算の概要(連結)

◆ 売上高は7.5%の増収。営業利益は38.0%、当期純利益は55.3%の大幅増益。

	2010年度		2011年度		
	実績	売上比	実績	売上比	前年伸率
(単位:百万円)					
売上高	49,482	100.0%	53,169	100.0%	7.5%
売上総利益	31,072	62.8%	34,646	65.2%	11.5%
販売管理費	27,760	56.1%	30,078	56.6%	8.3%
営業利益	3,311	6.7%	4,568	8.6%	38.0%
経常利益	3,158	6.4%	4,417	8.3%	39.8%
当期純利益	1,842	3.7%	2,861	5.4%	55.3%
研究開発費	5,281	10.7%	5,308	10.0%	0.5%
海外売上高	5,645	11.4%	6,506	12.2%	15.2%
一株当り配当	19円	—	(予定)23円	—	(前年差)4円

I -2 売上高(連結)

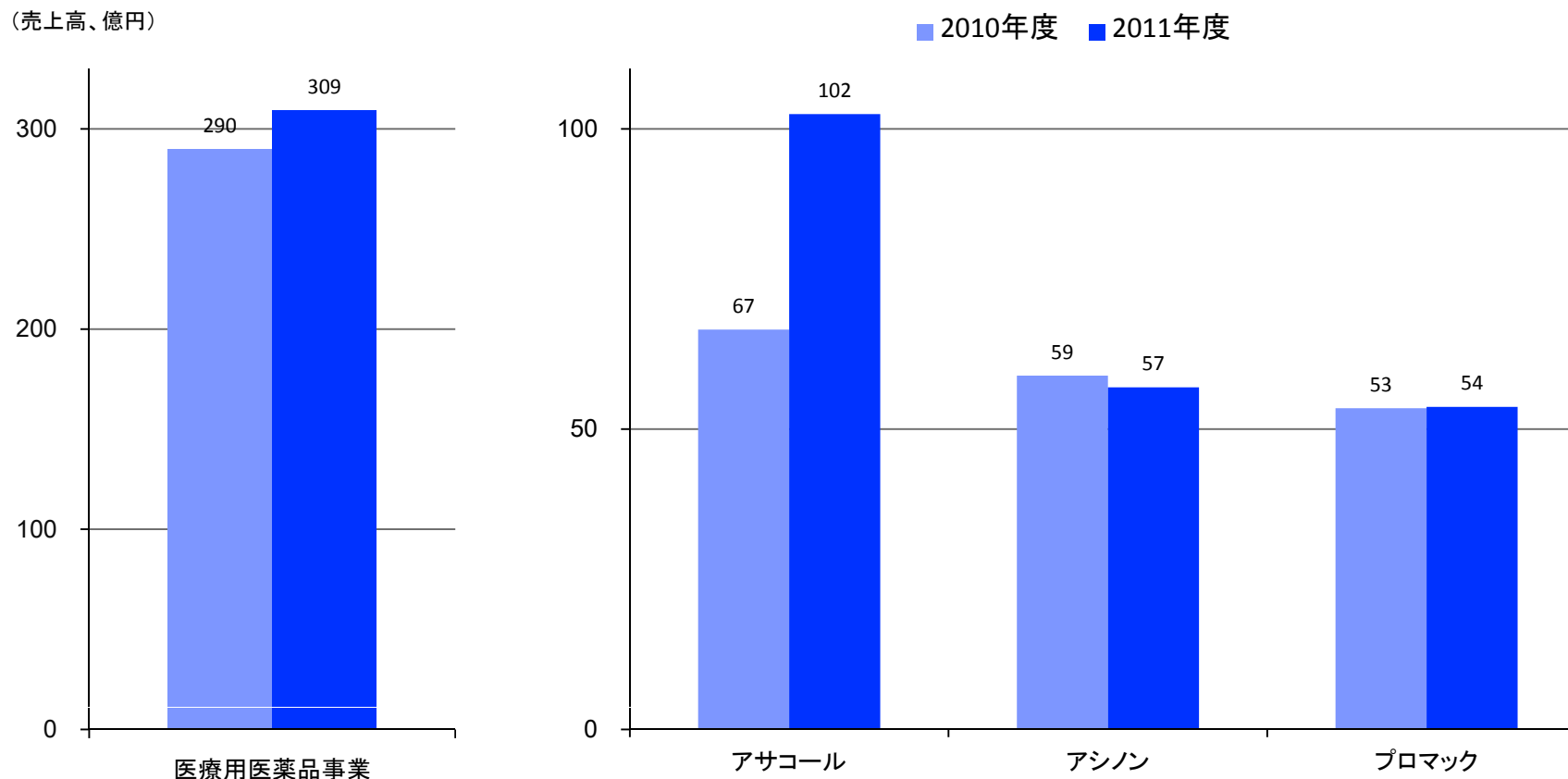
- ◆ 売上高は531.7億円、前年比36.9億円(7.5%)の増収。
- 医療用医薬品事業、コンシューマーヘルスケア事業いずれも増収。



I -3 医療用医薬品事業の状況

- ◆ 売上高は前年比19.4億円(6.7%)の増収。
- アサコールの国内外での大幅伸長(前年比53.9%増)が主要因。
- プロマックは微増、アシノン他は苦戦。

(売上高、億円)

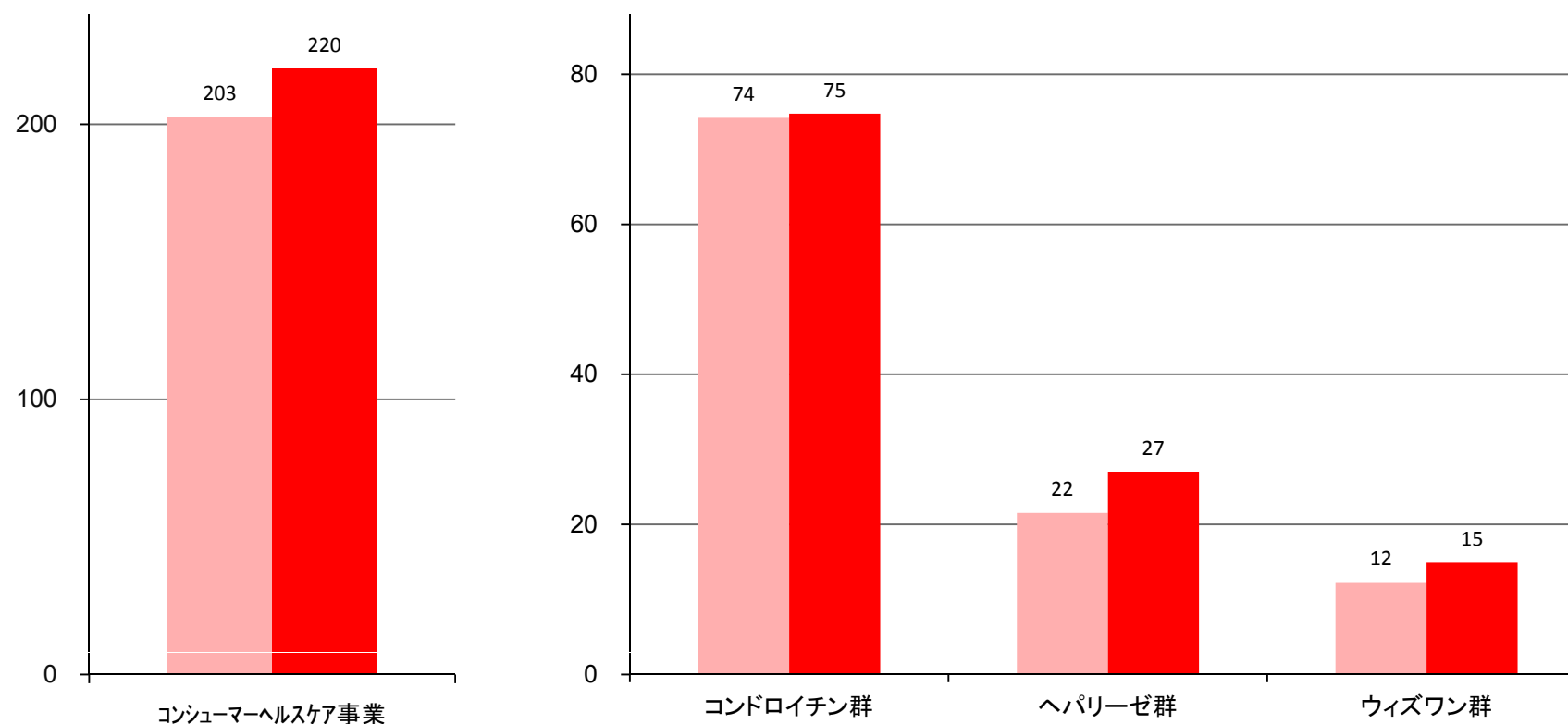


I -4 コンシューマーヘルスケア事業の状況

- ◆ 売上高は前年比17.6億円(8.7%)の増収。
- ヘパリーゼ群、ウィズワン群の大幅伸長が寄与。
- コンドロイチン群は微増。

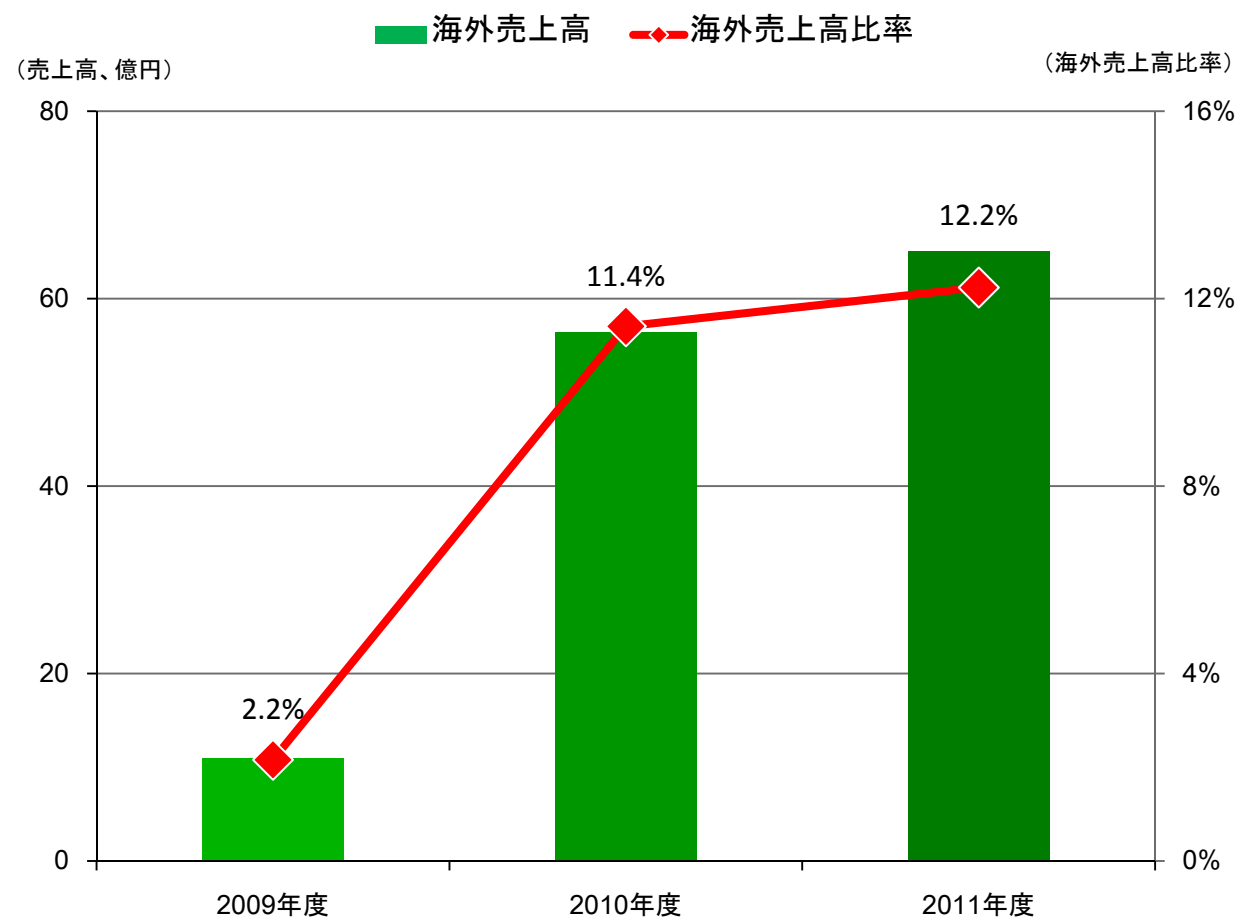
(売上高、億円)

■ 2010年度 ■ 2011年度



I -5 海外売上高(連結)

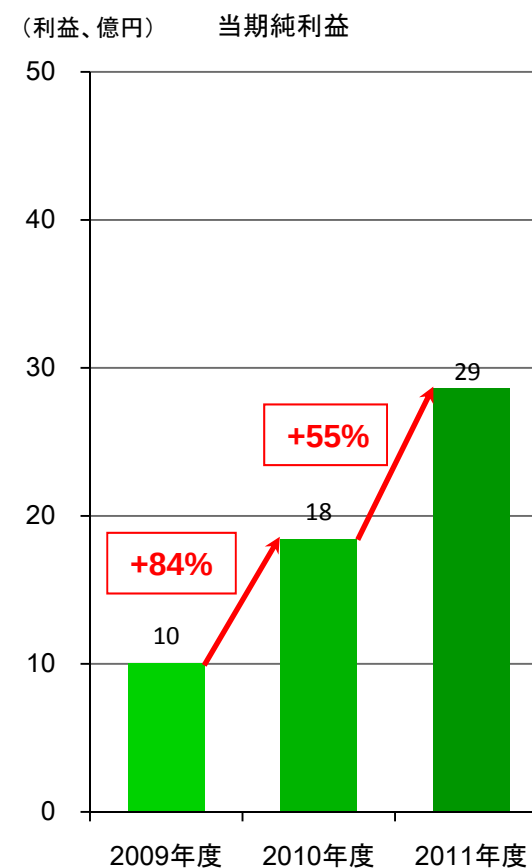
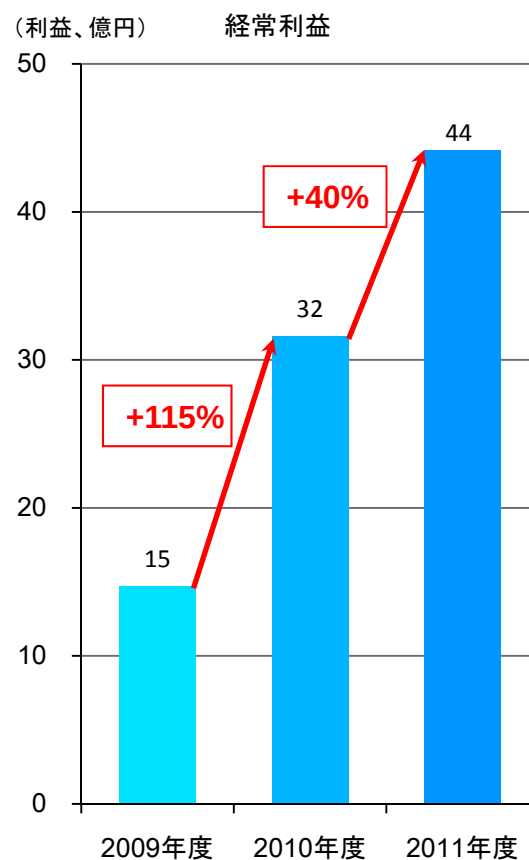
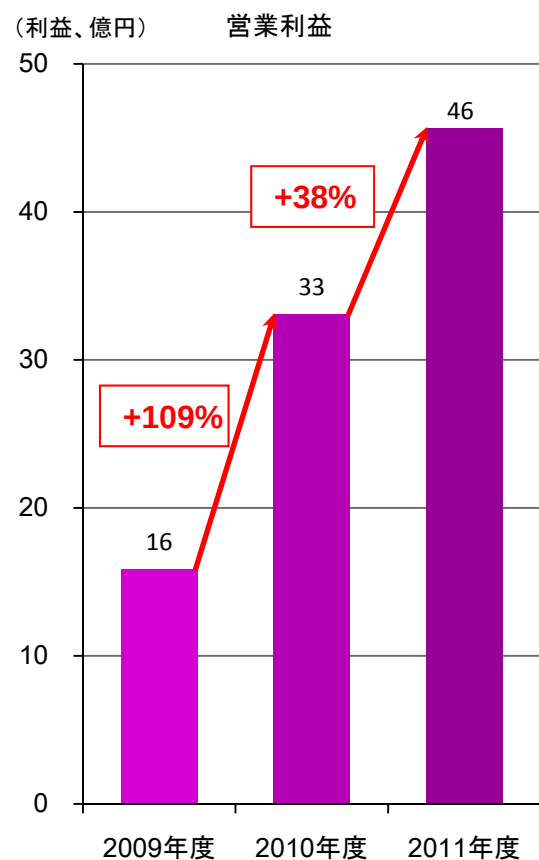
- ◆ 連結海外売上高比率は、前期の11.4%から、当期12.2%に増大。
- ティロツツ社の売上高伸長が寄与。



I -6 利益(連結)

◆ 営業利益、経常利益、当期純利益とも大幅増益基調を継続。

- ティロツツ社の好業績が寄与。
- 国内外アサコール、ヘパリーゼ、ウィズワンの伸長。



I -7 財務及びキャッシュフローの状況(連結)

◆ 財務の状況

(単位:百万円)	2010年度	2011年度	増減
総資産	73,779	75,201	1,422
純資産	28,423	30,494	2,071
自己資本比率	38.4%	40.4%	2.0%
一株当たり純資産	684.87円	734.06円	49.19円

◆ キャッシュフローの状況

(単位:百万円)	2010年度	2011年度	増減
営業活動によるCF	5,847	6,028	180
投資活動によるCF	△7,292	△2,566	4,725
財務活動によるCF	2,838	△2,433	△5,272
換算差額	△18	△264	△246
現金等増減額	1,375	763	△611
現金等期末残高	4,817	5,581	763

Ⅱ. 2012年度の取り組み

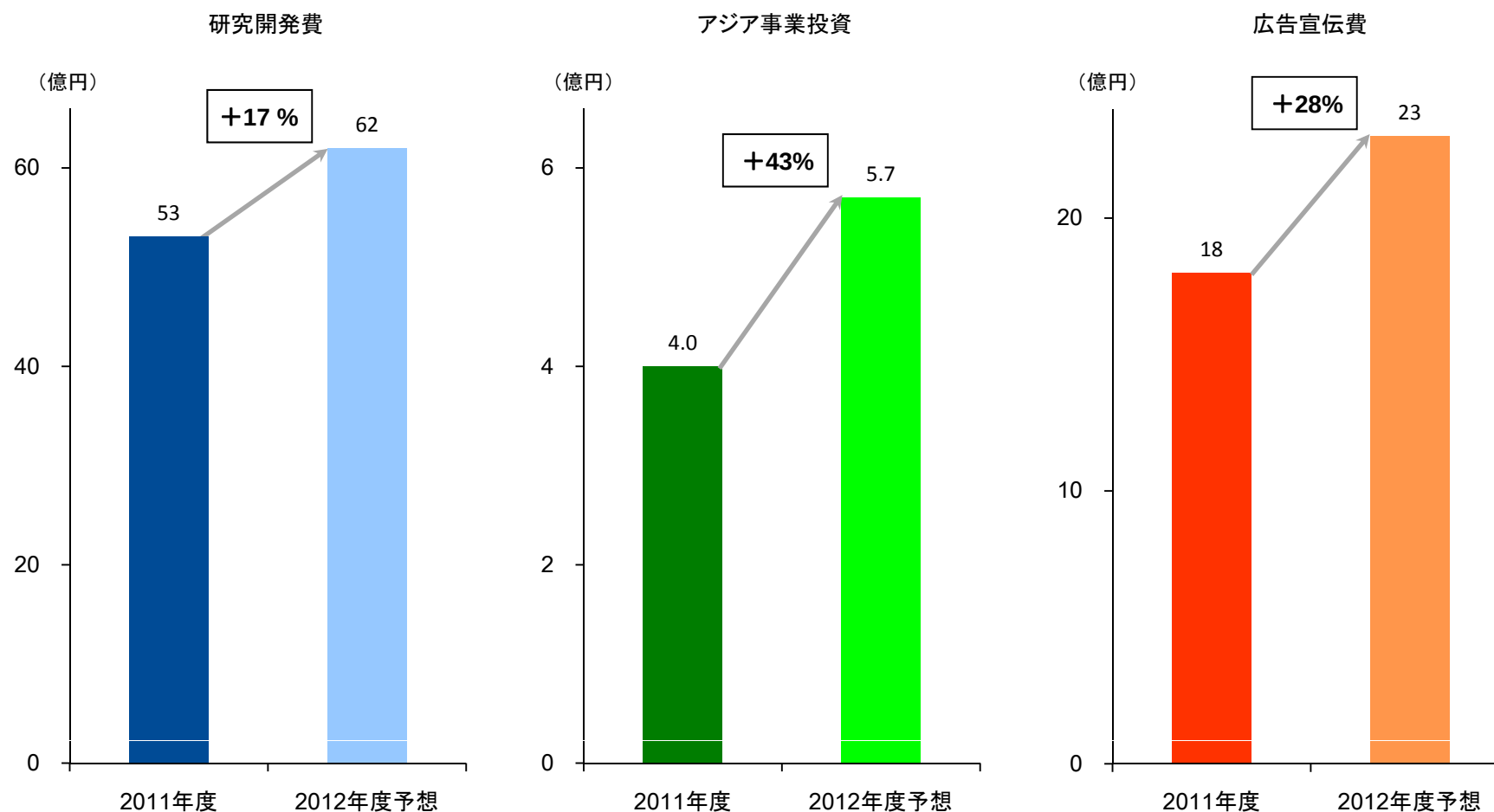


Ⅱ-1 2012年度通期業績予想(連結)

	2011年度		2012年度		
	実績	売上比	通期予想	売上比	前年伸率
売上高	53,169	100.0%	56,000	100.0%	5.3%
営業利益	4,568	8.6%	4,600	8.2%	0.7%
経常利益	4,417	8.3%	4,500	8.0%	1.9%
当期純利益	2,861	5.4%	3,200	5.7%	11.8%
研究開発費	5,308	10.0%	6,200	11.1%	16.8%
海外売上高	6,506	12.2%	7,500	13.4%	15.3%
一株当り配当	(予定)23円	—	24円	—	(前年差)1円

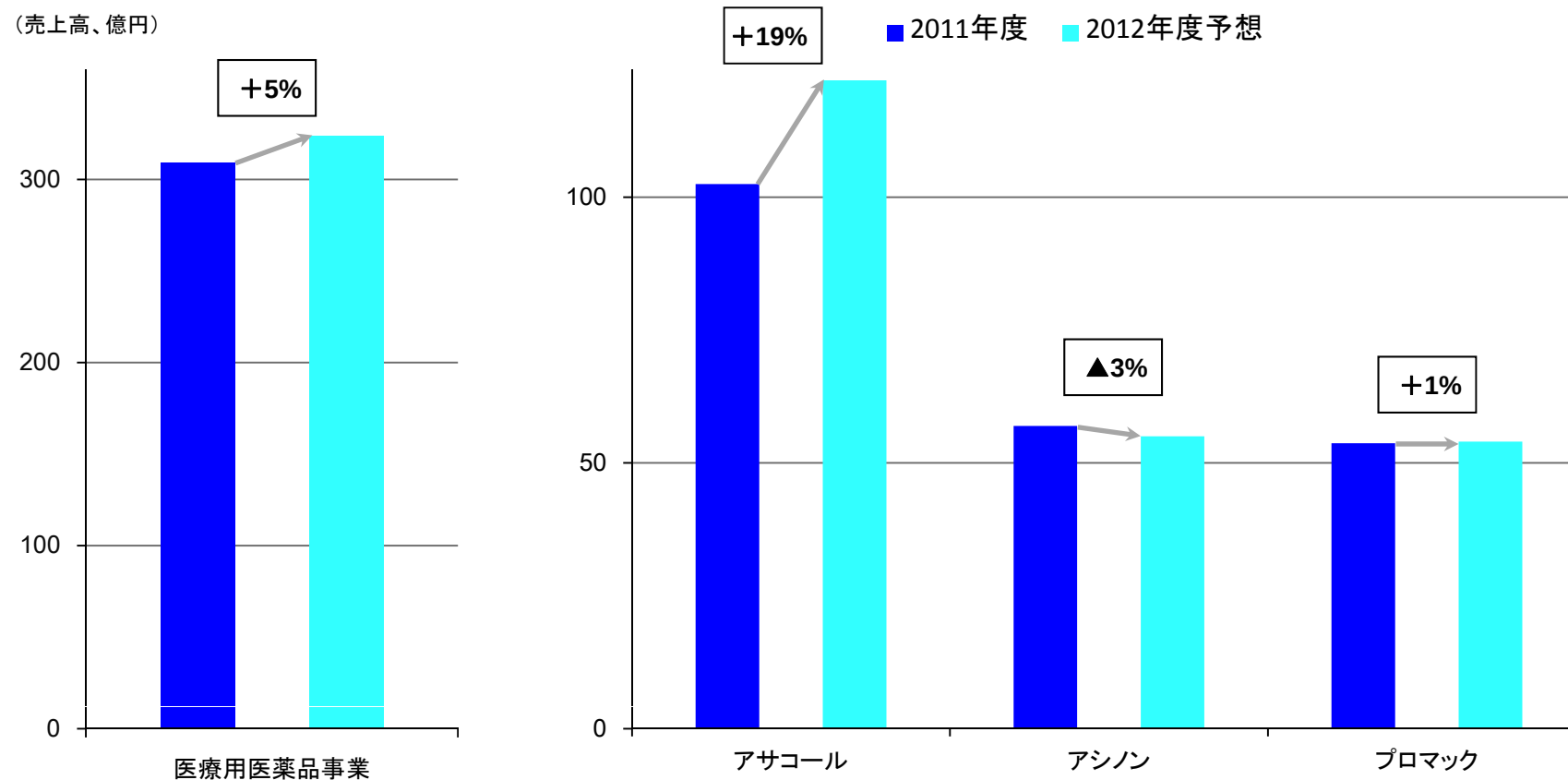
Ⅱ-1 2012年度通期業績予想(連結)

◆ 2012年度は研究開発、アジア事業、広告宣伝への積極的な投資を計画。



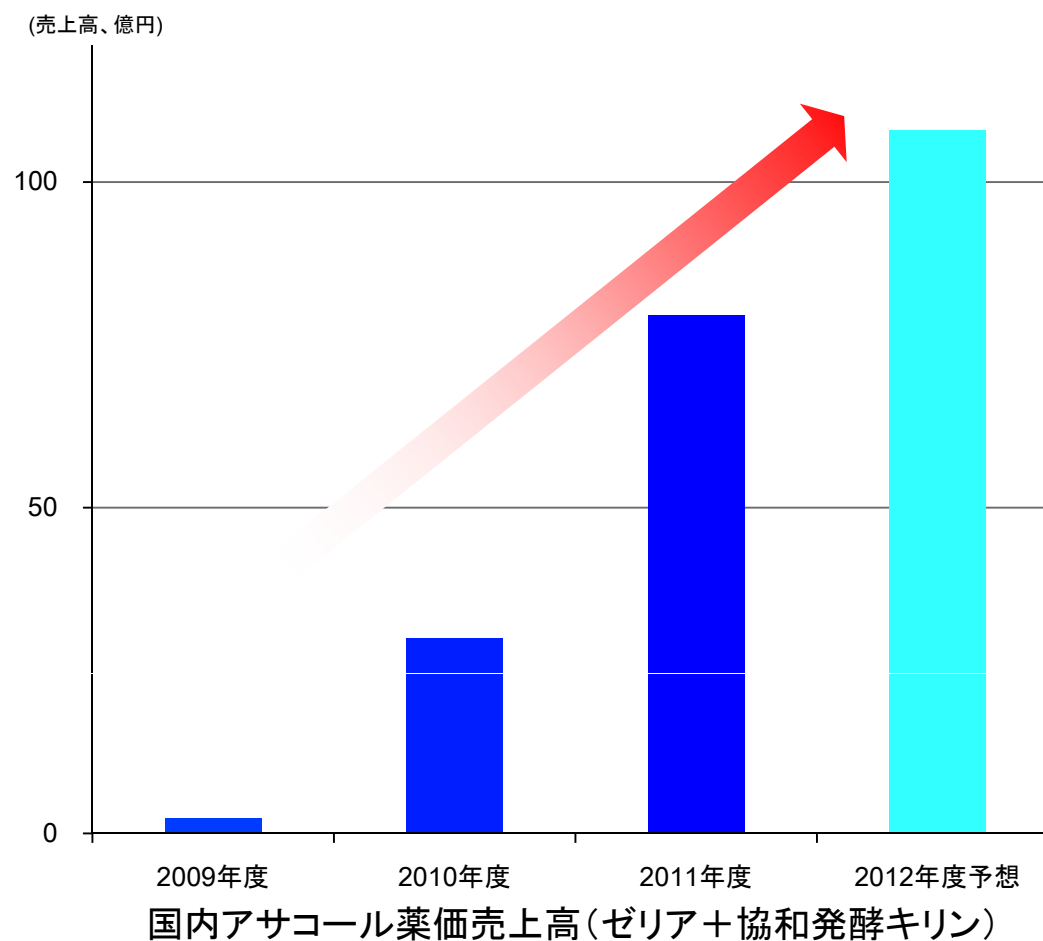
Ⅱ-2 医療用医薬品事業:売上予想(連結)

- ◆ 売上高は前年比15億円(5%)の増収と予想。
 - アサコールの国内外での伸長が増収の主要因。
 - 薬価改定がマイナス要因。



Ⅱ-2 医療用医薬品事業：アサコール

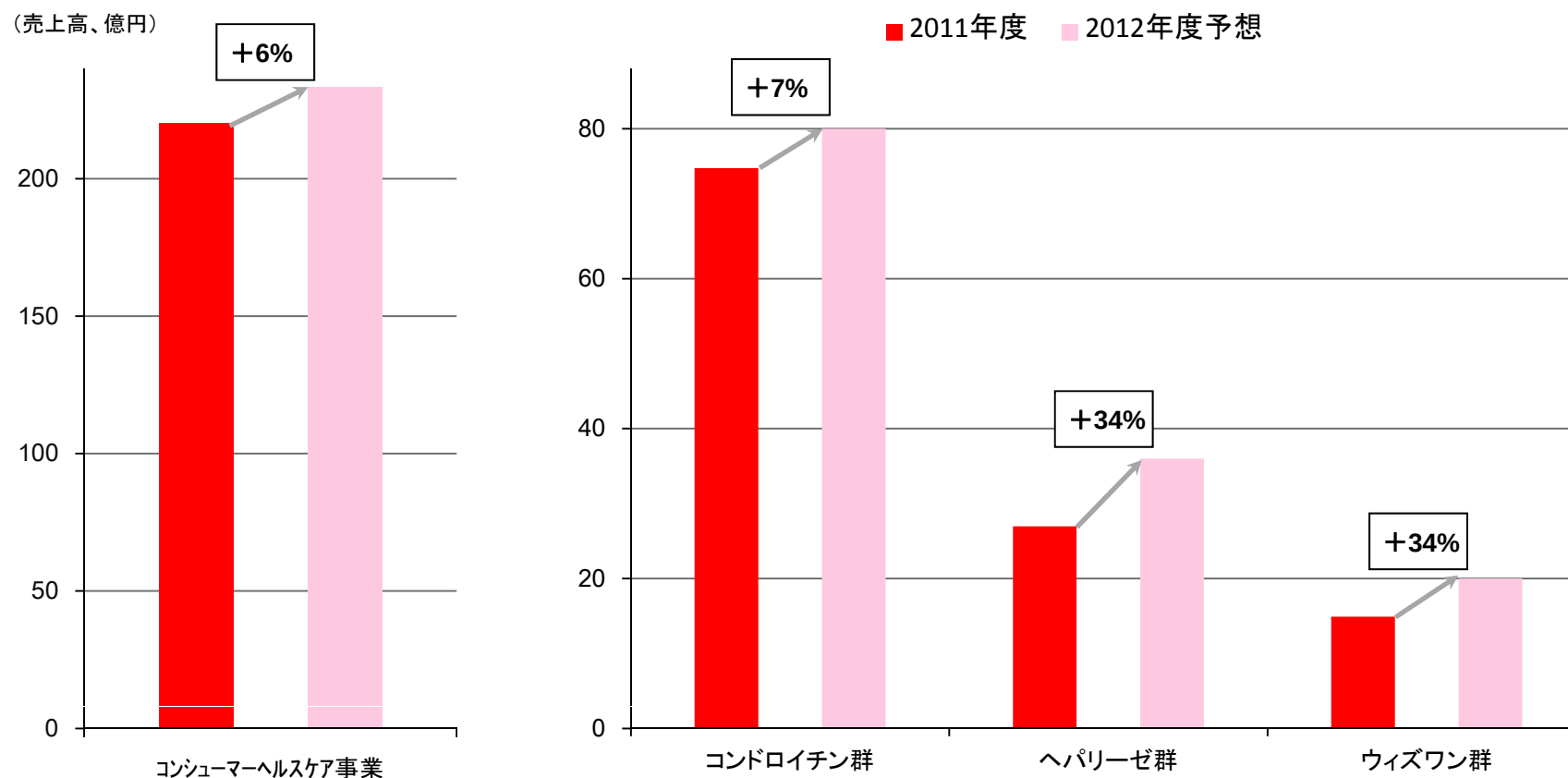
- ◆ 国内では、協和発酵キリンと合わせ、経ロメサラジン製剤でのトップシェアを目指す。



Ⅱ-3 コンシューマーヘルスケア事業:売上予想(連結)

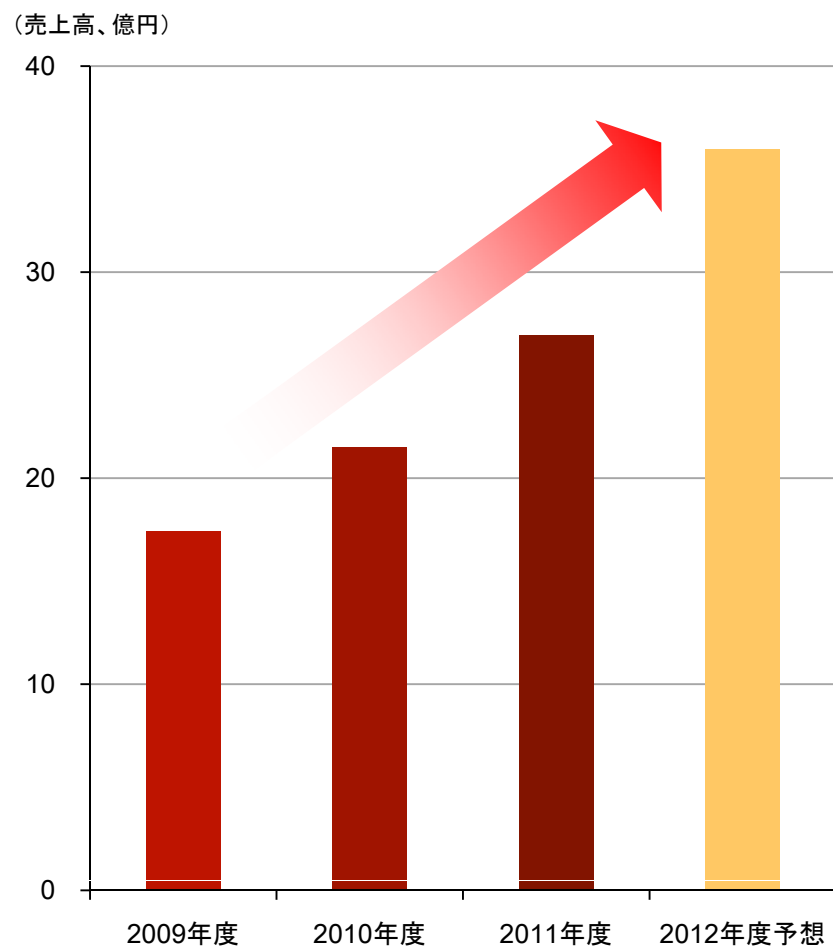
◆ 売上高は前年比13億円(6%)の増収と予想。

- ヘパリーゼ群、ウィズワン群は大幅伸長。
- コンドロイチン群も伸長。



Ⅱ-3 コンシューマーヘルスケア事業：ヘパリーゼ

◆ ヘパリーゼを第2のナショナルブランドにする。



滋養強壮剤「ヘパリーゼ」シリーズ

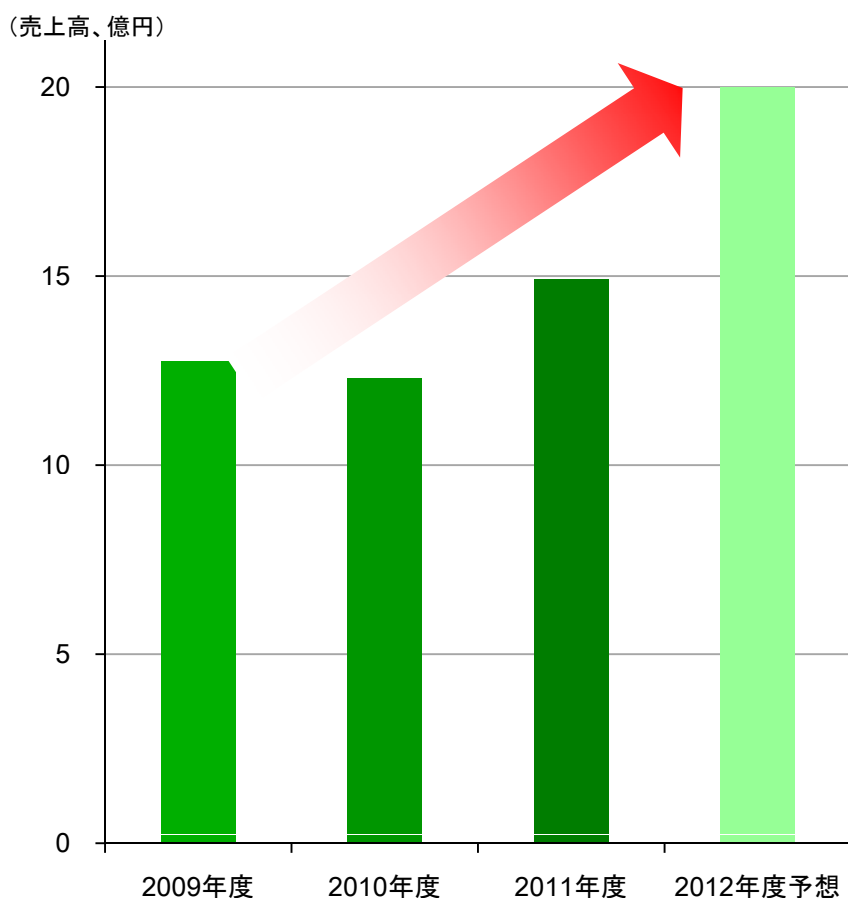


コンビニ向け
清涼飲料水
「ヘパリーゼW
(ダブル)」



Ⅱ-3 コンシューマーヘルスケア事業:ウィズワン

- ◆ ウィズワンを第3のナショナルブランド候補に育成する。
 - 2012年3月放映開始の『新ウィズワン』テレビCMと、これに連動した雑誌広告店頭プロモーションなどの販売促進策を展開。

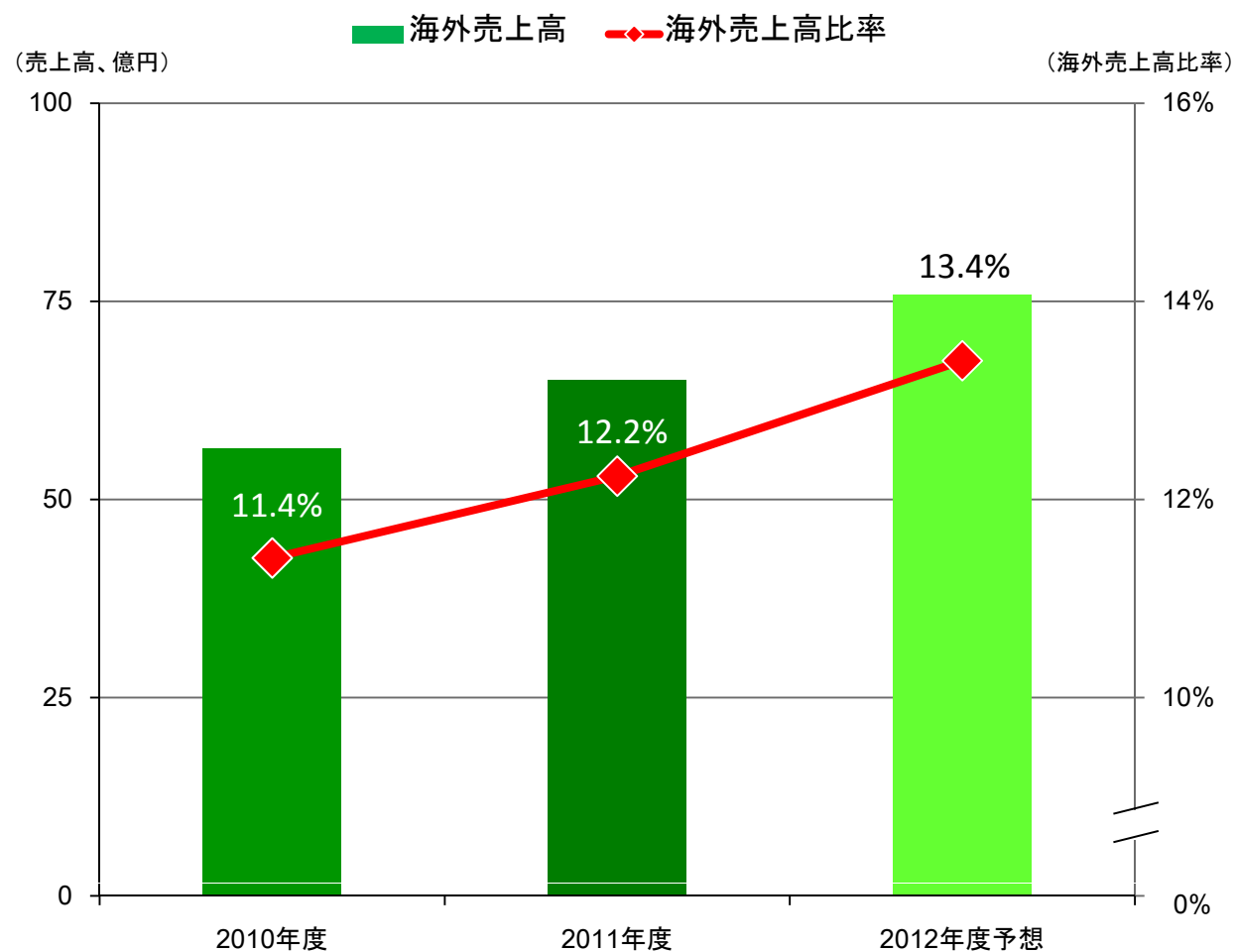


植物性便秘薬「ウィズワン」シリーズ



Ⅱ-4 海外事業：売上予想(連結)

◆ 海外売上高は前年比10億円(15%)増加し、海外売上高比率は13.4%と予想。



新薬パイプラインの状況

国内消化器系分野

開発番号	自社/導入	開発	開発段階	適応症	作用機序および特長	一般名
Z-338	自社オリジナル 予定製品名 アコファイド	共同開発 (アステラス製薬)	申請中	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	アコチアミド
Z-103	導入	自社開発	フェーズⅢ	味覚障害 「プロマック」効能追加	亜鉛補充	ポラブレジンク
Z-206	自社グループオリジナル	共同開発 (協和発酵キリン)	フェーズⅡ	クローン病 「アサコール」効能追加	pH依存型放出調整製剤	メサラジン
Z-360	自社オリジナル	自社開発	フェーズⅠ準備中 (アジア同時開発)	膵臓癌	ガストリンCCK ₂ 受容体拮抗作用	-

* Z-208は開発を中止いたしました

国内その他

開発番号	自社/導入	開発	開発段階	適応症	作用機序および特長	一般名
Z-521	自社オリジナル 予定製品名 ホスリボン	自社開発	申請中	くる病・骨軟化症を 伴う低リン血症	リン酸補充 未承認薬開発支援対象 希少疾病用医薬品	-
Z-100	自社オリジナル	自社開発	フェーズⅢ 追加試験	子宮頸癌	免疫調節作用	-
Z-207	導入	自社開発	フェーズⅡ	アレルギー性鼻炎	粘膜組織凝固・収縮作用 エタノール・ステロイド配合剤	-

海外

開発番号	自社/導入	開発	開発段階	適応症	作用機序および特長	一般名
Z-103	導入	導出 (SK Chemicals)	承認 (韓国)	胃炎・胃潰瘍 「プロマック」	胃粘膜保護作用	ポラブレジンク
Z-206	自社グループオリジナル	共同開発 (Tillotts Pharma)	フェーズⅢ (中国)	潰瘍性大腸炎 「アサコール」	pH依存型放出調整製剤	メサラジン
Z-338	自社オリジナル	自社開発	フェーズⅢ準備中 (欧州)	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	アコチアミド
Z-338	自社オリジナル	自社開発	フェーズⅡ終了 (北米)	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	アコチアミド
Z-360	自社オリジナル	自社開発	フェーズⅡ準備中 (欧州、アジア)	膵臓癌	ガストリンCCK ₂ 受容体拮抗作用	-

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

お問合せ先: 広報部 森山まで
Tel. 03-3661-1039 Fax. 03-3663-4203